

議会だより

発行
座間味村議会
広報委員会
098-987-2143

令和6年度沖縄県南部離島6村議会運営協議会「石垣・竹富町視察研修」を終えて

去った五月十三日、十四日一泊二日の日程で、我々座間味村議会は、離島六村議会運営協議会と言うことで、この度「竹富町」を行政視察（訪問）してきました。

今回は座間味村が主催の研修で事務局としての役割を担い、離島六村で構成される他離島村（渡嘉敷、粟国、渡名喜、南北大東）に加え、特別に久米島町も参加に至り、期間中、竹富町における無電柱化、訪問税の取り組み状況等について伺ってまいりました。

研修においては、沖縄電力による無電柱化取り組みに関する経緯を含めた概要、訪問税導入に関する現時点での状況など一括説明をうけました。その中で無電柱化における取組は全国的に沖縄県が比較的進んでいる状況という印象を受けたほか、更なる無電柱化の取り組みを進める上で費用確保の難しさ、整備に長い期間を要するという事が伺えました。このような状況を踏まえ今後、離島村で台風時における停電が深刻化される中で、一刻も早い改善がなされていくことを共通の課題として期待したいと思っています。

あと、同じ観光村である竹富町の訪問税については今後の動向を注視し、参考事例の提示など執行部との連携も深め、全国的な流れの中、本村の対応にも取り組んでいきたいと思っています。

このように、今回の竹富町への訪問を行い、情報の見聞にて、今後の議会活動に参考とさせてもらった事、同じ離島村である他議員との交流もできたことで非常に有意義なものとなりました。

最後に、今回の離島の村行政視察へは多くの関係者のご協力もあり無事に実施、終わりましたことを議会を代表してお礼申し上げます。



国立公園ゆがふ館前にて集合写真



竹富島集落内無電柱化現場視察



訪問税・無電柱化研修前 宮平喜文議長挨拶



訪問税・無電柱化研修様子

Q. 村政を問う！今回の一般質問はこれだ！！

令和6年 第二回定例会 一般質問

◎HPについて

Q. HPの見直しについて進捗状況を伺います。

A. 今年度より各課より人選を行い、HP 改善プロジェクトを立ち上げました。今後はリニューアルが必要かどうか他市町村の HP を参考に情報収集しているところです。

Q. どのくらいの期間で行うのか計画期間を伺います。

A. 新年度予算編成が12月なので、11月を目処に方向性を示していきたいと考えております。

◎訪問税について

Q. 訪問税について進捗を伺います。

A. 今年度より職員数名でワーキンググループを立ち上げ、導入に必要な様々な指標、試算の作成を進めているところです。

Q. どのくらいの期間がかかるのか伺います。

A. 訪問税の導入には時間がかかると思いますが、まずは、11月を目処に指標、試算の作成としております。

Q. 訪問税を導入するまでの間、美ら島税の見直しが必要だと考えるが、どのように考えているのか伺います。

A. 美ら島税の指摘をこれまで頂いてきましたが、正直なところ動いていません。

Q. 観光立村を掲げている本村ですが、財源が無い為に出来てないこともあると思います。本年度より阿嘉島の公共トイレ委託事業を阿嘉区が請負って、清掃管理を開始いたしました。財源が足りないという理由で、当初予定

していた時給より減額されての契約でした。

3月定例会では、議員及び特別職（村長、副村長、教育長）の報酬 UP の議案が可決されたのに、島の清掃が最低賃



西田吉之介

金というのは平等性に欠けると思うが、財源が足りないのであれば、美ら島税の見直しをするべきだが、村長の見解を伺います。

A. 美ら島税について導入当時の総務省の見解では100円を徴収して財源を徴収することを了承を得たが、昨今の事情や物価高騰を踏まえて様々な考え方が出てきています。

値上げをしての徴収が可能であれば総務省との協議も進めていこうと考えております。平等性につきましては、ごもっともだと認識しております。最低賃金に対して多少ですが上乗せさせている事は申し上げると同時に、将来的には税の見直しや新たな導入を基に財源を確保し、還元できるよう努めていきたいと思っております。

Q. 美ら島税の見直しは、現行の住民カードを使って差額徴収が可能です。総務省にも確認したところ、公平性を保つことは大前提として、誰が聞いても明確で納得がいく説明ができるのであれば、税率の変更も可能であると聞いています。訪問税に時間がかかるのであれば、美ら島税の見直しを先に行い、いずれは、

訪問税の中に美ら島税分を組み込んだ形で徴収できればと思います。これらも含めて伺います。阿嘉区のトイレ清掃委託の財源はどこから捻出されているのか？

A. 一部が美ら島税から出ています。

◎阿嘉―慶留間線バスについて

Q. 阿嘉―慶留間線バスの進捗について伺います。

A. 令和 5 年度中に令和 6 年度の 2 種免許取得事業の募集を行いました但応募はありませんでした。その為、再度今月 6 月 1 日より募集を開始し、現在 1 件の応募が来ている状況です。バス停の場所など課題の洗い出しにおいては、阿嘉区、慶留間区関係機関と協議を進めていきたいと思っています。

◎村内保安林について

Q. 村内の保安林の土地の解除に向けた取り組みについて今後の計画を伺います。

A. 現在、幾つかの土地で保安林が解除されていないまま建物や道路利用があることは確認しており、そのままで問題であると認識しております。どうしてこうなったのか、当時の状況が不明なため、まずは保安林が使用されている土地の洗い出しを行い、解除に向けて沖縄県と協議を行ってまいります。

Q. 洗い出しの期間はどれくらいを考えていますか？

A. 洗い出し等は早急に行う事を考えています。解除に向けては県南部林業事務所と進めていく事となるため具体的な期間は未定となります。

◎議会中継について

Q. 本村でも議会の質の向上や活性化、住民への開かれた議会を行うためにも議会中継が必要だと考えるが、村長の見解を伺います。

A. 議会の運営については議会事務局側にて運

営管理をするものと認識しております。議会中継を通して、議員皆様の普段からの活動だけでなく、役場執行部の意見や考え方も村民の皆様に見ていただくいい機会だと考えております。予算も絡んでくるので、村長部局との調整が必要になってくると思うので、調整があれば対応していきます。

以上が西田議員の代表質問です。



又 吉 文 江

◎継続質問

防災について

Q. 去った 4 月 3 日の津波警報時の対応について、住民の行動、行政判断はどうだったか。反省点や今後の検討事項の総括をお

願います。

A. 4 月 3 日の津波警報時の対応について、津波発生時刻午前 9 時 2 分。その後 9 時 5 分に対策本部を役場 3F に立ち上げ、村民、観光客の誘導や船舶の沖待ち案内を防災無線で行いました。津波到達時刻 10 時 10 分よりも前の 9 時 50 分には避難誘導を終えることができました。公助の部分にあたる避難周知においては避難第一としておりましたが、振り返ってみますと、到達予想時刻まで 1 時間ほどあったことからもう少し細やかな周知ができたのではないかと考えております。

自助の部分では、食料、飲料水を含めた防災グッズを持った住民や職員がほとんど見られませんでした。共助においては、要援護者の避難に職員だけでの対応は時間がかかりすぎると認識しました。船舶の沖待ちの放送案内は専門家にも確認しましたが、間違いではないとの回答を頂きました。やはり皆さん慌てたために、車での避難、それに伴う渋滞や事故も起きてしまいました。昼間の避難だっ

たため、熱中症、水や食料、トイレ問題などが出ている事も把握しております。自助、共助、公助とありますが、やはり公助を強くして自助、共助を育てていく必要があると認識しています。

Q. 防災マップについて HP のメイン画面に掲載して欲しいが可能か？

A. 早急に対応したいと思います。

Q. 防災マップの配布を要望します。

A. 来月広報に合わせて配布を考えています。

Q. 港やビーチなどに防災マップの掲示ができないか？

A. そういった対策が必要だと認識していますので検討を進めていきたいと思っています。

Q. 災害時の避難所に防災の備蓄品が配備されているか伺います。

A. 食料備蓄におきましては、歴史文化・健康づくりセンター及び役場に配置しています。

Q. パーテーション等はどうなっていますか？

A. 役場のみに準備しております。

Q. 津波襲来時の避難場所のトイレについて現状のままでいいのか伺います。

A. ダメだと思います。

Q. トイレや日陰、休める場所の設置が必要だと考えますがいかがですか？

A. 避難した後の対応が力不足だと認識しております。今回の津波警報で得た課題を出来るだけ早く解決していくよう努めてまいります。

Q. 本村の Line における情報提供を防災面でも活用できないか見解を伺います。

A. とても大切なことだと思います。福祉、子育て世代への情報提供が Line 活用の始まりでしたが、今後は防災面でも活用できるよう役場内でも検討して進めていきたいと思っています。

◎継続質問 島割運賃について

Q. 島割での片道チケットの販売ができないか伺います。

A. これまで継続でご要望も来ていますので、

沖縄県企画交通政策課と議論を進めるとともに、離島市町村と一緒に頑張ってご要望に応えられるよう取り組んでいきたいと思っています。

Q. 島割往復チケットの2週間の縛りについて緩和を求めます。

A. 本村の運送約款では 14 日間であります。他の離島市町村とも確認しながら検討したいと思っています。

Q. 島発の高速船往復を購入したが、海上時化等で高速船が欠航になったため、フェリーへのチケット変更をする際、本来支払われるはずの 90 円の差額についてどうなったか伺います。

A. 今後においては、船舶欠航時においては 90 円払い戻しを行い。自己都合の場合は、90 円返金後、200 円の手数料の徴収を行います。

Q. 90 円の払い戻しはいつから行いますか？

前回、高速船が欠航した時から行っております。

Q. 周知はどう考えていますか？

変更手続きは窓口でしか行えないため、窓口でお伝えするとともに、7 月広報に掲載したいと思っています。

◎幼稚園入園前 0 ～ 2 歳の保育環境について

Q. 他離島市町村では村営認可保育園がある中で座間味村だけない実情についてお考えを伺います。

A. 本村において出来ることはしっかりやっていきたいと思っています。今後議論を深めていければと思います。

Q. 座間味村にはファミリサポートセンターという制度がありますが、その利用状況を伺います。

A. 令和 5 年度は 4 回の実施があり、本年度は 1 回既にあり、来月 2 回が予定されています。

Q. 実際に使いづらいという声も出ています。お子様一人時給 600 円で二人目からは更になくなる制度となっています。副村長にお聞きします。地域の子供を時給 600 円で預かって見られますか？

A. 確かに安い金額だとは思いますが、これは賃金ではなくボランティアという形で預かって頂いているので、この金額を設定させて頂いてます。今後は、利用する保護者への助成も検討することになっています。

Q. 島サポは時給 900 円です。島サポの制度でファミサポが使えないのか住民課長いかがでしょうか？

A. ファミサポが有償ボランティアのため 600 円の設定はご理解願いたいと思います。今後は利用しやすくなるよう、見直しを検討してまいります。

Q. ファミサポはボランティアで、島サポはボランティアではないのでしょうか？

A. 島サポは村の社会福祉協議会が行ってしますので、金額設定の根拠は把握しておりません。ファミサポの 600 円は他市町村と同等でやっております。

Q. 幅広く使いやすいように検討してもらいたと思います。

A. ファミサポは県の補助を受けて行っている事業となります。今後は支援員を増やす事についても検討してまいりたいと思います。

Q. 令和2年の子育てプランにも幼児期の保育体制について支援が必要だと掲載されています。認可こども園についてどのような考えがありますか？

A. 認定こども園については 0 ～ 2 歳までの児童が 20 名以上の利用する方が必要であると聞いてます。現時点では難しいと考えています。

Q. 保育環境の整備は本村にとって必要なものだと思いますが、村長いかがですか？

A. 国の各種制度を活用して施設整備を進めていく事を新たな子育てプランに反映できるよう議論を深めていきたいと思います。出来るだけ住民の皆様にも喜んでいただけるような取り組みを進めていきたいと思います。

又吉文江議員の代表質問です。



垣花 太郎

◎阿嘉港不法投棄について

Q. 阿嘉港の不法投棄について進展をお聞きます。

A. 3 月議会でも答弁した通り、県南部農林と村と当事者との面談を計画しており

ますが、当事者が島外にでており、電話連絡をいれても連絡が取れない状況が続いています。県及び県の顧問弁護士と協議を重ね、法的処置について検討しているとの事でありま。また、台風に伴う破片が飛散しないよう県がネットをかけて飛散の予防を行っている所です。

Q. 不法投棄に網が被さっている理由を教えてください。

A. 経緯としまして、村長と南部農林土木事務所と話をした中で、台風による被害を出さないためにも南部農林土木事務所によりネットをかけることをしました。

Q. 不法投棄がそのまま当事者と連絡が取れないという状況で今後どうするのか不安になるが、行政執行を行う形でも片づけてほしいと思います。また、家も危ない状態でどうしたらいいか困っています。よろしくお願いします。

A. 引き続き県の方にも働きかけて新たな方策をとることができないか訴え続けていきたいと思います。家の方に関しまして、地主及び家主に連絡をして、必要であれば村の顧問弁護士との相談も可能ですとお伝えしている所です。

◎フェリーざまみ阿嘉～那覇行について

Q. フェリー座間味の阿嘉一泊行の船で以前は阿嘉港からの乗船客の為に席スペースの確保がされていましたが、いつの間にかされてい

ない、以前議会で決めたことが守られていないのは課長からの引継ぎが出来ていないのか？マニュアルがないのかお聞きします。

A. 船長に確認したところ、夏季シーズンはロープを張り、阿嘉港からのお客様の座席確保をしていたが、冬季やシーズン前はしていなかったと回答を頂いています。今後は、年間を通して行うように船長、船員に周知をいたします。

◎泊北岸での QZ キャンセル待ちについて

Q. 泊北岸で、クィーンざまみのキャンセル待ちが不可について伺います。又、体が不自由な方、妊娠中、産後の方に不親切ではないかと思えます。是非、北岸チケット販売所でも変更できるよう、努力して下さい。

A. 外部委託業者に北岸での対応をお願いしたが、人員配置で対応できていないと回答がありました。今後は北岸事務所でも対応できるよう再度通達していきたいと思えます。

◎4月3日の地震について

Q. 災害について阿嘉島においてヘリポートではなく、海水淡水化施設への避難が可能になる様に県と協議していただきたいがいかがですか？

A. ヘリポートはあくまでも一時避難所です。4月より民間企業との防災に向けたアドバイザリー契約も結びました。住民との意見交換会や役場としての防災についての仕組みに関してもしっかりと組織づくりをしていきたいと思えます。

垣花太郎議員の代表質問です。



中村秀克

◎キャンプ・野宿について

Q. キャンプ・野宿について釣り人への対策が甘いと思うが、対策をどう考えているのか見解を伺います。

A. 釣を目的に来島する方へは、各港において掲示物等で注意喚起を行っています。

港でのテント使用については役場職員で声掛けを行っています。今後は HP での情報発信、掲示物等を活用し環境省とも連携して行っていきたいと思えます。

Q. キャンプ・野宿を伴う釣り客が明確な定めがない中グレーゾーンで横行しているように思えるがその辺の線引きの確立について対策の見解を伺います。

A. 確かに、釣りなのか、キャンプなのかわからない部分がありますが、環境省との連携、観光協会との周知、条例による職員、区長、消防団と連携を図り、案内周知をしていきたいと思えます。

Q. 那覇からの渡し船における美ら島税の徴収について渡し船組合への働きかけができないか伺います。

渡し船に対する入島税について特別徴収義務者の制度を活用できないか協議していきたいと思えます。

中村秀克議員の代表質問です。





宮平 清志

◎郵便物のコンテナ置き場について

Q. 安全な作業及び雨に対応するためにも場所の移動と屋根付きにして悪天候対策をお願いしたい。また、宅急便についても同時進行で検討

伺います。

A. 予約システムにつきましては、WEB クレジット決済 55 日前から可能。電話予約 1 か月前同日より可能。WEB クレジットに関しまして片道 2 回もしくは往復 1 回の予約が可能となっています。

Q. 今の状態の予約システムからの改善方法が無いか見解を伺います。

A. 仮予約が非常に多く、実際の乗船客との乖離がある事も起きてきた経緯があるため慎重に検討を重ねないといけない問題だと思えます。

宮平清志議員の代表質問です。

して頂きたいが、見解を伺います。

A. 各港職員及び船員とも協議しながら決めていきたいと思います。

・郵便物において宅急便も各島ありますが、港の使用について契約等ありますか？
特になくと思います。

◎船舶の予約について

Q. 那覇在住や長期滞在の方で何度でも座間味村に遊びに行きたいが、予約が重なって取れない不便がある。現在の予約システムについて



令和 6 年度 第2回定例議会議案採決結果・第2回座間味村議会定例会

令和6年度6月12日

議案番号	件 名	議 案 等 の 概 要	文 江	吉 之 介	太 郎	秀 克	清 志	議 決 結 果
議案第 30 号	専決処分の承認(令和5年度国民健康保険事業特別会計補正)	一般療養給付金が大幅に上回ったことで必要	○	○	○	○	○	○
議案第 31 号	専決処分の承認 国民健康保険条例の一部を改正する条例	国民健康保険法施行令の一部を改正する政令の交付に伴い	○	○	○	○	○	○
議案第 32 号	専決処分の承認 座間味村税条例	地方税法の一部を改正する法律の施行に伴い	○	○	○	○	○	○
議案第 33 号	令和6年度一般会計補正予算(第1号)について	歳入歳出予算の総額にそれぞれ 70.043 千円追加	○	○	○	○	○	○
議案第 34 号	令和6年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)について	歳入歳出予算の総額にそれぞれ 3.527 千円追加	○	○	○	○	○	○
議案第 35 号	令和6年度船舶事業会計補正予算(第1号)について	船舶運航事業収益 5,000 千円 / 船舶運航事業費用 26,497 千円	○	○	○	○	○	○
議案第 36 号	令和6年度簡易水道事業会計補正予算(第1号)について	簡易水道事業費用 補正予算額 729 千円	○	○	○	○	○	○
議案第 37 号	沖縄県後期高齢者医療広域連合規約の変更	広域連合の規約の変更は関係地方公共団体の協議が必要	○	○	○	○	○	○
議案第 38 号	公施設指定管理について	歴史文化健康づくりセンター管理者指定について	○	○	○	○	○	○
議案第 39 号	令和6年度下水道事業会計補正予算(第1号)について	下水道事業費用 補正予算額 1,350 千円	○	○	○	○	○	○
報告第 2 号	令和5年度繰越明許費繰り越し計算書の報告	総務費・農林水産費・土木費・教育総務費 計 30,421 千円	○	○	○	○	○	○

コラム

島人ぬ宝 No.6



今回は阿嘉で民宿「名平良（ナーレー）」を家族で営む金城正義さんにお話を伺いました。阿嘉中学を卒業後、高校では調理師免許を取得。その後、兵庫県宝塚の会席料理屋で修業。本島に戻り沖縄料理やホテルで技術を身に付け三十歳の時に阿嘉島に戻る。

現在は民宿の食事を担当し島の食材を使った料理がお客様にも大好評です。

観光協会主催の料理教室や学校の家庭科でも講師を務め地産地消で地域を活性化したりと、料理の世界で学んだ知識や技術を、島の人々に広めている若い力である。

体を動かすことも好きで、中学校のバトミントンの外部コーチとしても活動。自身が主催するバトミントンの「ジャステス杯」やフットサル大会も開催し、幅広い世代と島をまたいだ交流に貢献しております。

島に戻り7年が過ぎ、移り変わりについて何うと、人口が少なくなってきたてき活がないことに危機感を抱いている。若い世代の移住希望者がいるが、家が借りられないもどかしさがある。行政にすべて頼るのでは

く民間でも取り組めることはどうかしたい。先生方との交流のある彼だから、教員のおかれてる住環境もかなり悪いと嘆いていました。

今後の目標として自分の店を出したい。島の人口が増え地域が元気になるように今後も頑張りたい。頼もしい若い力でした。



大会でアドバイスする正義さん



調理実習風景

9月定例議会のお知らせ

日時・9月10日・11日

午前10時より

場所・役場二階座間味村議

会議場

傍聴に来られる方は当日午前9時50分までに受付を済ませてください。議会が始まってからの入退場はできませんので時間厳守でお願いします。又、傍聴中は私語及び撮影・録音も禁止になります。

開かれた議会運営を目指しています。是非、傍聴にいらしてください。見れます。聞けます。お待ちしております。

尚、都合に時間等変更することもあります。役場掲示板で確認をお願いします。

※前日に村内放送予定

議長公務出張の報告

5/13 離島6村議会運営協議会（竹富町行政視察）14日まで
5/18 第14回沖縄県植樹祭（大里こども園）

5/21 全国正副議長研修会
5/24 沖縄県土木建設部との

行政懇談会

7/31 南部広域行政組合議会

編集後記

時下、村民の皆様には、健やかにお過ごしのこととお慶び申し上げます。

梅雨が明け、夏を迎え、那覇では気象台観測史上初となる気温36度を観測し3日連続35度を超える猛暑日を記録しました。

さて、議会だより第7号は、6月定例会から一般質問等、5月に行われた南部離島1町6村協議会の竹富町視察研修について。

島人ぬ宝は、阿嘉島在住の金城正義さん。阿嘉中学校を卒業して15の春で島を離れ、30歳の時に島に戻り、民宿の食事担当として頑張っています。過疎化の進んだ故郷を元気にしたい等、これからの思いを語ってくれました。

夏本番はこれからです。熱中症対策を十分に健康管理に留意され、又、台風の影響もありますので、台風対策も十分に今年の夏を無事に乗り切っていきましょう。

委員長：中村秀克